

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 明成会

目 次

- 1 事業総括.....
- 2 障害者支援施設オイコニア.....
- 3 グループホーム笑和.....
- 4 相談支援事業所わらわ.....
- 5 デイサービスセンター緑林荘.....
- 6 デイサービスセンターさくら貝.....
- 7 居宅介護支援事業所りょくりん.....
- 8 職員研修.....
- 9 配食サービス事業.....
- 10 宿舎運営事業.....

平成30年度 事業報告（総括）

2040年を見据えた社会保障・働き方改革の検討が行われるなか来年度から「働き方改革関連法」が施行されることとなりました。

労働力人口の減少が四万十町内においても著しく、「働き方改革」を踏まえた対応を検討してきました。平成30年度から多様な価値観、生活スタイルに合わせたワーク・ライフ・バランスに考慮した働き方の実現に向け、これまでの人事制度を人材マネジメント制度に改め、複線型役割等級制度を導入することで柔軟な働き方と処遇改善に取り組んできました。その結果、有期契約職員から8名を職務限定正職員、2名を無期契約職員に雇用形態を変更し、正職員から1名職務限定正職員にコース変更しました。しかしながら、年間通して人材不足は深刻化しつつあり、より働きやすい労働環境を整備することが喫緊の課題です。人材確保対策として採用条件の見直しやOJT研修体制等見直すとともに在籍職員の処遇改善（年次有給休暇の取得方法や夜間勤務手当の見直し等）に取り組んできました。また、ICTの活用による業務改善、業務効率化に向けた取組みとして、タブレットを導入することで介護記録システムの入力がその場でできるようになり、一時的な記録や記入漏れが少なくなり、タブレットの効果が顕著に表れています。今後、業務マニュアルの電子化などタブレットを活用した業務改善を行っていく計画もあり、働き方改革に対する意識の変化が見られるようになりました。来年度はデイサービスセンターにおいてもタブレットを導入していく予定です。

昨年度、社会福祉充実残額が算定されたことで充実計画を策定することになりましたが、今年度も充実残額が計画上の20%を超えることとなり、再度社会福祉充実計画の変更申請が必要となりました。事業内容は変更せず、厨房の増改築工事費に全額充当する計画としました。

今年度は以下の項目を重点的に取組みました

○障害者支援施設オイコニアは開設25年が経過し、厨房の老朽化及び提供食数に応じた調理作業場を整備するため、社会福祉充実計画に基づき、来年度の厨房増改築工事に向け7月から設計事務所と打ち合わせを始め、3月には実施設計が完了することができました。現状から約100㎡増築するとともに一部厨房設備を更新し、今後予定される施設の大規模改築工事を見据えた必要最小限の工事計画としました。総事業費は約8,000万円となり、高知県施設整備補助金の交付は得られず、全て自己資金での工事予定となりました。各事業所の厨房機能を備えていることから、今年度はデイサービスセンター緑林荘・さくら貝から合計1,400万円の拠点区分間繰入金を行い、施設整備等積立金を7,000万円行うこととしました。

○職場環境の改善を図り職員の定着促進を図るため、ノーリフティングケアの推奨と介護技術向上に向けた取組みを積極的に行いました。今年度も高知県介護福祉機器等導入補助金を活用してベッド10台を入れ替えたため、約6割が3モーターベッドで対応できるようになりましたが、引き続き介護福祉機器、福祉用具の検討を進めていくこととしました。

○明成会中長期計画の策定に向け、実効性・具体性のある計画づくりを目指し、一般職員6名も中長期計画の策定に参画するためのプロジェクトチームを立ち上げ検討を重ねてきました。具体的な取組み内容と実施年度を一覧表で表し職員に理解しやすい内容となりました。これからは、この計画に基づき各年度の事業計画を作成することとします。

○地域における公益的な取組みを積極的に行うため、法人研修の新たな活動として、地域の方も対象に含めた認知症に関する研修とリフレッシュ研修を行い、少人数の参加でしたが、有意義な研修を実

施することができました。また、地域の自主防災組織や各関係機関等と連携した福祉避難所の運営訓練を実施し、近隣の方々とともに防災意識向上に取り組んできました。さらに公益的な取り組みを実施していく上で、地域で必要とされるニーズを把握することが重要であり、来年度は地域の方を構成メンバーに含めた地域貢献委員会を立上げることになりました。

主な収支状況について

○「オイコニア」では、障害福祉サービス等報酬改定（改定率プラス0.47%）及び人員配置区分の変更、入院延日数等の減少により、事業収入が約2%（500万円）増額となりました。8月の高知県指導監査では送迎加算の算定が不適切と指導があり、遡って過去の報酬約63万円を返還することになりました。また、本年度の報酬にも算定ミスがあり、来年度に再請求し修正する予定です。前年度より人件費が減少した要因が大きく、サービス活動増減差額は前年比の46%の増額となりました。

○グループホーム笑和は、開設2年目となり3月末には8名が入所しましたが、入院や外泊等もあり大変厳しい経営状況にあります。相談支援事業所わらわは、相談支援員を2名配置することで四万十町から委託費が倍額となり、対象者は約100名/月、相談対応に追われています。「笑和」では事業収入は昨年度に比べ683万円の増額となりましたが、サービス活動増減差額は昨年同様大きくマイナスを計上することとなりました。

○「緑林荘」では、利用者数が8月以降増加傾向となり、定員の増員を図りましたが3月には定員に達しました。前年度に比べ利用者数が増加しましたが、介護保険収入の近年の減少傾向は続くこととなりました。利用者の介護度の軽度化が原因と考えられます。しかしながら、サービス活動増減差額は前年比の39%の増額となりました。年間を通して利用者数の変化が大きく、利用者数に応じた人員配置を検討することが必要になりました。

○「さくら貝」では、ご利用者ニーズに沿って7月から利用定員を1日15名に変更したが、実績が伴わず、収支予算書を二転三転することになりました。介護保険収入は前年度に比べ約15%（370万円）増額となりましたが、常勤者を1名配置する必要があったため、サービス活動増減差額は前年比の62%の増額となりました。

○「配食サービス事業」では、配食数が減少し1日平均88.9食となりましたが、3月からは増加傾向に転じました。サービス活動増減差額はマイナスとなり、厳しい収支状況にありますが、公益的な取り組みの一つとして捉えています。また、町当局とも検討を重ね来年度には単価の見直し予定となりました。

その他、詳細については財務報告にて報告し、以上を平成30年度の総括とします。

(1) 理事会・評議員会の開催

【 理 事 会 】

第1回 理事会 ≪平成30年6月1日(金)午後2時00分～午後4時10分≫

<理事：7名出席、監事：2名出席／議長：瀧澤理事>

報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②前回理事会において議決した「給与規程」「準職員等就業規則」について

第1号議案 平成29年度事業報告書(案)について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

<平成29年度 明成会事業報告の提示>

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. 相談支援事業所オイコニア
4. デイサービスセンター緑林荘
5. デイサービスセンターさくら貝
6. 四万十町地域包括支援センターランチさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業(宿舍運営事業)

第2号議案 平成29年度収支決算報告書(案)について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

<平成29年度 財務諸表の提示>

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 社会福祉充実計画について

【提案理由】

経理規程第78条及び第79条の規定により社会福祉充実残額が有るため、社会福祉充実計画を作成と承認

第4号議案 平成30年度第1次補正予算書(案)について

【提案理由】定款第32条第1項の規定による審議

- [オイコニア拠点区分]
- [緑林荘拠点区分]
- [笑和拠点区分]
- [職員宿舍運営事業拠点区分]

第5号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第6号議案 「ご利用者所持金等の取扱に関する規程」の改正について

【提案理由】

- ・担当者及び管理体制の見直し

第2回 理事会 ≪平成30年8月20日（月）午後2時00分～午後4時10分≫

<理事：7名出席、監事：2名出席／議長：八木理事>

報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②厨房増改築工事の進捗状況

第1号議案 平成30年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

- 〔オイコニア拠点区分〕
- 〔緑林荘拠点区分〕
- 〔さくら貝拠点区分〕
- 〔居宅介護支援事業拠点区分〕
- 〔職員宿舎運営事業拠点区分〕

第3回 理事会 ≪平成30年11月12日（月）午後1時00分～午後2時45分≫

<理事：7名出席、監事：2名出席／議長：吉岡理事>

報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②厨房増改築工事の進捗状況

第1号議案 平成30年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

- 〔オイコニア拠点区分〕
- 〔緑林荘拠点区分〕
- 〔笑和拠点区分〕
- 〔居宅介護支援事業拠点区分〕
- 〔職員宿舎運営事業拠点区分〕

第4回 理事会 ≪平成31年2月1日（金）午後3時00分～午後4時25分≫

<理事：7名出席、監事：2名出席／議長：瀧澤理事>

報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②前回理事会において報告事項となった内容

第1号議案 指定短期入所事業所オイコニア運営規程の一部変更にとりなう承認について

【提案理由】

通常の事業の実施地域の見直し等全面的な見直し

第2号議案 職員の人事異動の承認について

【提案理由】

定款第22条第2項の規定による審議

第5回 理事会 《平成31年3月19日（火）午後2時00分～午後4時05分》

＜理事：6名出席、監事：2名出席、顧問：1名出席／議長：吉岡理事＞

報告事項

①理事長・常務理事の職務執行状況

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

②厨房の増改築工事の進捗状況

第1号議案 平成30年度第4次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔職員宿舎運営拠点区分〕

第2号議案 2019年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における2019年度事業計画書の審議

第3号議案 2019年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における2019年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「就業規則」

【提案理由】

年5日の年次有給休暇の確実な取得の義務付け及び時間単位年休を取得できるよう一部改正

○「給与規程」

【提案理由】

夜間勤務手当の見直しにともなう一部改正

○「契約職員就業規則」「嘱託職員就業規則」

【提案理由】

年5日の年次有給休暇の確実な取得の義務付け及び時間単位年休を取得できるよう追加、夜間勤務手当の見直しにともなう一部改正

○「職員住宅利用規程」

【提案理由】

住宅利用料の変更にともなう一部改正

【 評 議 員 会 】

定時評議員会 《平成30年6月21日（木）午後2時00分～午後4時10分》

評議員：9名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：佐竹評議員

議事録署名人：戸田悦子評議員、東慶人評議員

第1号議案 平成29年度収支決算報告について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜平成29年度 決算関係書類の提示＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 社会福祉充実計画について

【提案理由】

社会福祉法第55条の2第7項の規定による審議

平成30年度～平成31年度社会福祉充実計画

報告事項

- 1 平成29年度 第4次補正予算（定款第32条第2項の規定による）
- 2 平成29年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 平成30年度 事業計画（定款第32条第2項の規定による）
- 4 平成30年度 収支予算（定款第32条第2項の規定による）
- 5 平成30年度 第1次補正予算（定款第32条第2項の規定による）

(2) 役職員の研修等に関する事業

〔障害者支援施設オイコニア〕

- | | |
|-----------|---|
| 4月18日(水) | 高知県身体障害者施設協会総会(高知市/岡村) |
| 5月10日(木) | 中四国身障協施設長会(島根県/岡村) |
| 11日(金) | |
| 18日(金) | 高知県経営青年会理事会(高知市/矢野) |
| 6月4日(月) | 高知県社会福祉法人経営協総会及び青年会総会
(高知市/岡村・矢野) |
| 14日(木) | 中・四国身体障害者支援協議会研修委員会(広島県/西村) |
| 7月21日(土) | 介護職員等喀痰吸引等研修指導者講習(高知市/黒岩) |
| 24日(火) | てんかん基礎講座(大阪市/佐々木) |
| 25日(水) | |
| 31日(火) | 全国身体障害者施設協議会研究大会(大阪市/矢野・竹内・松田・山脇)
実践発表「福祉用具を活用しケアの質を高めることによる効果の検証」 |
| 8月1日(水) | |
| 26日(日) | 高知県介護職員等喀痰吸引等研修(高知市/中山・松田)合計9日間 |
| 27日(月) | 高知県経営協セミナー(前期)(高知市/岡村・矢野) |
| 29日(水) | リスクマネジメントセミナー(高知市/西村・岩崎) |
| 9月3日(月) | 福祉サービス苦情解決セミナー(高知市/岡村・西村・泥谷) |
| 14日(金) | 施設見学(玉野スマイルタウン)(岡山県/岡村・矢野・吉岡) |
| 19日(水) | ディズニーアカデミー公開セミナー(東京都/岡村・泥谷) |
| 21日(金) | |
| 28日(金) | 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(宿毛市/矢野) |
| 10月11日(木) | 中・四国身体障害者施設職員研修大会
(広島県/岡村・笠岡・武政・山中) |
| 12日(金) | |
| 18日(木) | 中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー(山口県/岡村) |
| 19日(金) | |
| 26日(金) | 中国・四国ブロック福祉改善活動発表高知大会(高知市/岡村) |
| 11月5日(月) | 公益的な取組に関する意見交換会(須崎市/岡村・矢野) |
| 9日(金) | 介護福祉士実習指導者講習会(高知市/泥谷・武政) |
| 14日(水) | 中・四国身障協支援職員研修会(高松市/西村) |
| 16日(金) | |
| | 高知県福祉大会(高知市/岡村) |
| 26日(月) | 全国身障協職員スキルアップ研修会(神奈川県/岡村・中山) |
| 29日(木) | 中・四国身障協事務管理研修会(高知市/岡村・矢野) |
| 30日(金) | |
| 12月5日(水) | 成年後見制度研修会(中土佐町/岡村・西村) |
| 11日(火) | 介護福祉士実習指導者講習会(高知市/泥谷・武政) |
| 12日(水) | |
| 13日(木) | 安全衛生推進者養成講習(高知市/岡村) |
| 14日(金) | |
| 1月15日(火) | 高知県経営協後期セミナー(高知市/岡村) |
| 26日(土) | 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/矢野) |
| 30日(水) | 高知県身障協生活部会研修会(高知市/矢野・市川・黒岩) |

- 2月 11日 (月) } 社会福祉法人会計基準実践的決算講習 (東京/吉岡)
- 14日 (木) }
- 21日 (木) } 中・四国身障協総会及び施設長研修会 (松山市/岡村)
- 22日 (金) }
- 25日 (月) 働き方改革関連法に関する説明会 (四万十市/矢野)
- 27日 (水) 社会福祉法人決算実務研修会 (高知市/岡村・矢野)
- 3月 5日 (火) 高知県身障協 施設長セミナー (高知市/岡村)
- 14日 (木) } 全国身体障害者施設協議会経営セミナー (東京/岡村・矢野)
- 15日 (金) }
- 22日 (金) 高知県経営協青年会理事会 (高知市/矢野)

〔デイサービスセンター緑林荘〕

- 4月 19日 (木) 高知県老施協総会 (高知市/岩崎)
- 6月 29日 (金) 高知県老施協 21世紀代表委員会 (高知市/岩崎)
- 7月 4日 (水) } 四国老人福祉施設関係者研究大会 (徳島市/岩崎・土居)
- 5日 (木) }
- 18日 (水) } 相談支援従事者(初任者)研修 (高知市/岩崎)
- 19日 (木) }
- 8月 28日 (火) 高知県老施協 21世紀正副委員長会 (高知市/岩崎)
- 31日 (金) 高知県老施協西ブロック研修会 (岩崎)
- 9月 4日 (火) 四国ブロックカンントリーミーティング実行委員会 (岩崎)
- 10月 31日 (水) サービス管理者責任者研修 (高知市/岩崎)
- 11月 27日 (火) } サービス管理者責任者研修 (高知市/岩崎)
- 28日 (水) }
- 2月 15日 (金) 高知県カンントリーミーティング (高知市/岩崎)

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 4月 19日 (木) 高知県老施協総会 (高知市/中平)
- 7月 4日 (水) } 四国老人福祉施設関係者研究大会 (徳島市/中平)
- 5日 (木) }
- 3月 6日 (水) } 防火管理・防災管理新規講習会 (高知市/中平)
- 7日 (木) }

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- 4月 20日 (金) 中四国ブロック会議 (香川県/大崎)
- 5月 16日 (水) } 全国経営青年会委員総会 (東京都/大崎)
- 17日 (木) }
- 18日 (金) 高知県経営青年会理事会 (高知市/大崎)
- 6月 4日 (月) 高知県社会福祉法人経営協理事会及び青年会総会 (高知市/大崎)
- 5日 (火) 中土佐町就労支援勉強会 (中土佐町/豊田・山崎)
- 11日 (月) 難聴児支援研修会 (高知市/山崎)
- 25日 (月) //
- 23日 (月) 全国社会福祉法人経営青年会地域活動実践委員会 (東京都/大崎)
- 8月 27日 (月) 高知県経営協セミナー(前期) (高知市/大崎)

- 9月14日(金) 施設見学(玉野スマイルタウン)(岡山県/大崎)
- 19日(水) } ディズニーアカデミー公開セミナー(東京都/大崎)
- 21日(金) }
- 28日(金) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(宿毛市/大崎)
- 10月11日(木) } 高知県強度行動障害支援者養成研修(高知市/豊田)
- 12日(金) }
- 15日(月) 高知県相談支援従事者現任研修(高知市/豊田)
- 16日(火) 農福連携セミナーin幡多(四万十市/山崎)
- 18日(木) } 中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー(山口県/大崎)
- 19日(金) }
- 31日(水) 発達障害者就労支援セミナー(四万十市/豊田・山崎)
- 11月5日(月) 公益的な取組に関する意見交換会(須崎市/大崎)
- 14日(水) } 社会福祉法人経営青年会全国大会(京都府/大崎)
- 16日(金) }
- 20日(火) 高知県精神保健福祉協会研修会(中土佐町/山崎)
- 27日(火) 療育福祉センター発達障害に関するセミナー(高知市/豊田)
- 29日(木) 障害者就業・生活支援センターこうばん連絡協議会(須崎市/山崎)
- 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議(高松市/大崎)
- 12月21日(金) 全国経営協中国・四国ブロック青年検討会、協議会会長会議
(高松市/大崎)
- 1月15日(火) 高知県経営協後期セミナー(高知市/大崎)
- 18日(金) 全国経営協中国・四国ブロック協議会会長会議(高松市/大崎)
- 26日(土) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(高知市/大崎)
- 29日(火) 地域生活定着支援研修会(高知市/豊田)
- 2月4日(月) 社会福祉法人役員セミナー及び災害支援セミナー(岡山/大崎)
- 4日(月) } 高知県強度行動障害支援者養成研修(実践研修)(高知市/豊田)
- 5日(火) }
- 14日(木) 全国経営協青年会 地域活動実践委員会(東京/大崎)
- 15日(金) 全国経営協中四国ブロック青年会並びにブロック協議会会長会議
(香川/大崎)
- 3月4日(月) 全国経営協青年会 委員総会(東京/大崎)
- 7日(木) 高知県経営協理事会及び企画委員会(高知市/大崎)
- 22日(金) 高知県経営協青年会理事会(高知市/大崎)

〔居宅介護支援事業所りょくりん〕

- 4月21日(土) 高知県中央西ブロック研修会(いの町/北川)
- 25日(水) 介護予防研修(四万十町/北川)
- 5月31日(木) 介護予防支援従事者研修(高知市/北川)
- 6月21日(木) 四万十町第1回ケアマネ連絡会(発達障害)(四万十町/北川)
- 23日(土) 第1回高幡ブロック研修会(中土佐町/北川)
- 8月31日(金) 四万十町第2回ケアマネ連絡会(ICF)(四万十町/北川)
- 10月31日(金) 四万十町第3回ケアマネ連絡会(実務6年以下)(四万十町/北川)
- 11月29日(木) 四万十町第4回ケアマネ連絡会(中重度予防研修会)
(四万十町/北川)

- 1 2月 3日 (月) 高幡5市町在宅医療・介護連携合同研修会 (須崎市／北川)
- 1 16日 (日) 第2回高幡ブロック研修会 (中土佐町／北川)
- 1 1月 22日 (火) 平成30年度難病研修会 (四万十町／北川)
- 1 31日 (木) 四万十町第5回ケアマネ連絡会 (事例検討会) (四万十町／北川)
- 2 2月 16日 (土) 四万十町権利擁護研修会 (四万十町／北川)
- 1 19日 (火) 四万十町第6回ケアマネ連絡会入退院調整ルール
(四万十町／北川)

(3) 施設・設備整備等の事業

平成30年度の施設・設備整備事業は、つぎのとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載>

[オイコニア]

[車輛]

・車椅子用送迎車輛（中古車） 1,080,000円 <(有)市川モータース>

[備品]

・低床3モーターベッド（10台） 1,209,600円 <新高知基準寝具(株)>

・防犯カメラ増設工事 248,400円 <(株)富士>

・サイロ 178,200円 <(株)フジマック>

[ソフトウェア]

・給与管理システムの更新 312,120円 <陽和産業(株)>

[修繕]

・脱衣場入口引き戸取替工事 155,000円 <黒岩建具店>

・iPad入力・ネット用LAN配線工事 232,200円 <四国電話工業(株)>

・個浴槽用リフトモーター修理費 122,580円 <(株)メディプレスト>

・貯水槽清掃、消毒 129,600円 <三栄工業(株)>

・相談室の改修工事 1,155,600円 <小松建設(株)>

・飛散防止フィルム（管理棟） 391,000円 <(株)フタガミ>

[緑林荘]

[車輛]

・送迎車両買取り 1,182,080円 <高知日産プリンス販売(株)>

[修繕]

・ボイラー水漏れ修理 183,600円 <(株)巴商会>

・ろ過装置ろ過材等修理 464,400円 <(株)トサトヨー>

・ブラインド修理 168,480円 <(有)古谷家具>

[さくら貝]

[修繕]

・業務用エコキュート修理 397,440円 <三菱ビルテクノサービス(株)>

[笑和]

[ソフトウェア]

・既存ソフトクライアント使用権 112,320円 <陽和産業(株)>

・相談支援システムの更新 760,104円 <陽和産業(株)>

[構築物]

・駐輪場整備 108,000円 <高知トヨー住器(株)>

・駐輪場舗装整備 183,600円 <(有)国元建設>

[職員宿舎]

[修繕]

・浄化槽柵嵩上げ工事及び舗装工事 345,600円 <(有)国元建設>

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい豊かな生活を送ってもらうために、何が必要であるかを共に考えながらサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。

個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、サービス内容の充実にむけて、支援体制の構築を図りながら、日中活動支援プログラムの新たな取り組みを行い、より内容の濃い日中活動の提供を行った。

居住支援事業の施設入所支援については業務見直し、ノーリフト、安全対策委員会を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。

短期入所サービスについては、定期利用者の増加や新規利用者の確保により前年延べ人数より増加しており、問い合わせも続いている状態であるが、通所サービスについては、短期入所利用と重複しているご利用者が数名いることや新規ご利用者の開拓が停滞している状態である。

1. 相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

2. 個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

3. ライフサポートチーム

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めると共に安全・安心した生活を送れる活動を行った。

また、1月には各委員会が年間の活動報告をまとめ事例研究発表を行うことで、全職員が委員会活動の理解を行った。

また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

本年度はタブレットの導入を行い、業務改善に努め紙での記録を少なくしていき、今後も業務の効率化を図っていく

4. 介護技術

「高知県介護福祉機器等導入支援事業」より3モーターベッドの購入をして、ご利用者の安楽な支

援と職員の介助時の負担軽減を図った。

他にも、マルチグローブを全職員へ配布し、職員の腰痛予防対策、技術向上を図る為に、職員の段階にあった研修を行うことで、それぞれの必要な技術習得を図ることができた。

5. 日中活動

日々の業務内で気になっている部分を、日中活動の視点から課題抽出し、身近な所から改善を行った。まず、レク月間予定表の活動名を変更し、ご利用者、職員ともに予定表を見ても楽しむことができるよう工夫した。さらに、月間予定表の休日、祝日に色を付けて掲示し、視覚的に分かりやすいものへの変更を行った。また、各棟廊下の装飾について、長期間同じものを飾り変わり映えのしないものが多くみられるといった課題が挙げられたため、日中活動の中で月に1～2回の装飾作成の活動を設ける等の工夫をした（思い出ボード作り）。装飾は、季節の流れや思い出を想起しやすいよう、先月分の行事写真を貼り出した。

6. 安全対策

福祉用具の使用方法的説明や確認を行った。また、ヒヤリハットや、介助時に起きた事故の内容から対応方法を検討するとともに、再発予防の啓発を行った。

ご利用者が施設外へ出て行くことが度々みられ、緊急時の対応が迅速にできるよう徘徊マニュアルを作成した。

7. 懇親会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。今年度も自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望を伝えるといった発言はあまり見られなかった。

8. 苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。定期的に第三者委員の巡回訪問があり、苦情解決の体制を確保することができた。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

平成31年3月31日現在

	南 国 市	高 知 市	四 万 十 市	宿 毛 市	市 部 計	土 佐 町	佐 川 町	日 高 村	越 知 町	梶 原 町	中 土 佐 町	四 万 十 町	黒 潮 町	大 月 町	町 村 部 計	合 計
男性	1	1	2	3	7	1	0	0	1	1	6	14	2	3	28	35
女性	0	3	1	0	4	0	1	1	0	0	0	8	1	0	11	15
計	1	4	3	3	11	1	1	1	1	1	6	22	3	3	39	50

2. 障害別一覧表

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	2	9
筋ジストロフィー	1	0	1
脊髄損傷	9	0	9
脳疾患による後遺症	8	6	14
頭部外傷後遺症	4	1	5
麻痺による機能障害	0	2	2
水頭症	1	0	1
パーキンソン病	1	0	1
ダウン症	1	1	2
知的障害	2	0	2
その他	1	3	4
合計	35	15	50

3. 障害・療育手帳別一覧表

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	26	11	37
第1種2級	3	3	6
第1種3級	1	0	1
第2種2級	1	0	1
第2種3級	1	0	1
第2種5級	1	0	1
療育 A1	2	0	2
療育 A2	0	1	1
合計	35	15	50

4. 年齢別一覧表

年齢	男性	女性	合計
20歳～29歳	1	0	1
30歳～39歳	3	1	4
40歳～49歳	5	3	8
50歳～59歳	6	2	8
60歳～69歳	15	1	16
70歳～79歳	4	7	11
80歳 以上	1	1	2
合計	35	15	50

5. 平均年齢

平成31年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	29歳7ヶ月	80歳9ヶ月	58歳9ヶ月	60歳2か月
女性	35歳3ヶ月	88歳9ヶ月	63歳6ヵ月	

6. 上限月額徴収額

平成31年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	48
2	37,200	2
合計		50

7. 食費等徴収額

平成31年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	7	15	44,771	1
2	14,918	1	16	45,112	1
3	19,940	1	17	45,143	3
4	20,932	1	18	45,319	1
5	32,402	1	19	45,360	1
6	35,781	1	20	45,391	5
7	37,021	1	21	45,422	2
8	38,137	1	22	46,755	1
9	40,183	1	23	48,739	1
10	40,400	1	24	49,390	1
11	43,159	1	25	50,661	1
12	44,027	1	26	53,110	11
13	44,585	1			
14	44,740	2	合計		50

8. 障害程度区分

平成31年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	1	0	1
4	6	1	7
5	7	3	10
6	21	11	32
合計	35	15	50

平均障害程度区分 5.6

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
退 所	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
在籍者数	33	16	34	16	34	16	34	15	34	16	34	16	34	16

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3
退 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3
在籍者数	34	16	34	16	34	16	34	16	35	15			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,466日	9日	11日	20日
5月	1,486日	20日	15日	35日
6月	1,462日	7日	31日	38日
7月	1,487日	7日	35日	42日
8月	1,493日	10日	47日	57日
9月	1,495日	5日	0日	5日
10月	1,517日	6日	27日	33日
11月	1,457日	4日	39日	43日
12月	1,497日	17日	36日	53日
1月	1,450日	29日	71日	100日
2月	1,309日	5日	86日	89日
3月	1,499日	6日	19日	25日
合計	17,618日	125日	417日	540日

前年度延べ日数 17,366日

11. 金銭管理状況

	男性	女性	計
全て自己管理	4	2	6
一部自己管理	9	5	14
全て施設管理	15	6	21
家族が管理	5	2	7
成年後見人	2	0	2
計	35	15	50

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

平成31年3月31日現在

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	65日	10人	11月	63日	8人
5月	59日	8人	12月	51日	8人
6月	49日	8人	1月	55日	8人
7月	59日	8人	2月	63日	9人
8月	66日	8人	3月	53日	8人
9月	56日	8人			
10月	69日	8人	合 計	708日	99人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町・黒潮町

前年度延べ日数 845日

2. 障害程度区分

平成31年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
2	0	0	0
3	2	3	5
4	0	0	0
5	1	1	2
6	1	0	1
合 計	4	4	8

平均障害程度区分 3.9

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	12人	66日	11月	12人	62日
5月	10人	58日	12月	11人	67日
6月	11人	53日	1月	9人	52日
7月	10人	56日	2月	13人	73日
8月	11人	65日	3月	12人	80日
9月	12人	70日			
10月	13人	73日	合 計	136人	775日

※支給決定市町村：高知市・土佐市・須崎市・佐川町・黒潮町
越知町・津野町・中土佐町・四万十町

前年度延べ日数 740日

2. 障害支援区分

平成31年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
1	0	0	0
2	1	1	2
3	2	2	4
4	2	2	4
5	3	2	5
6	3	1	4
合 計	11	8	19

平均障害程度区分 4.3

日中一時支援（タイムステイ）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	1日	1人	10月	1日	1人
5月	2日	1人	11月	1日	1人
7月	1日	1人	12月	1日	1人
8月	1日	1人	合 計	8日	7人

※ 支給決定市町村：四万十町

前年度延べ日数37日

2. 障害程度区分

平成31年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
2 (児童)	1	1	2
5	1	0	1
合計	2	1	3

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
平成30年 4月 7日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。また、近隣部落の方々と交流を図る。
平成30年 6月12日 平成30年 8月28日 平成31年 2月 7日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらおう。
平成30年 7月 6日	夏祭り	屋内	1回	ご利用者・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
平成30年12月 8日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご家族を招き、ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
平成31年 1月17日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供をするとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、毎週火・金曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。

(園内喫茶)

毎週木曜日に「由菜の里」の出張喫茶を開店している。

(整容)

美容院・理髪店へは、ご利用者の希望に応じ対応を行った。一方、外出できないご利用者には、月1回外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

(単独外出)

単独外出が出来るご利用者については、安全面など留意点を話し合い、本人の希望を尊重し外出支援を行った。

2. 外出行事

実施日	行き先等	参加人数	実施日	行き先等	参加人数
4月	外食(町内) 2回	16人	10月	魚釣り(中土佐町)	2人
	ドライブ(町内)	3人		コスモス祭り	3人
5月	ドライブ(町内) 2回	8人		高知県西部ボッチャ大会(町内)	3人
	障害者スポーツ大会(春野)	7人	11月	外食(中土佐町)	5人
6月	ドライブ(四万十市)	3人		龍馬ボッチャ大会	2人
	外食(町内)	4人		外食(中土佐町) 2回	6人
7月	ブルーベリー狩り(町内) 2回	14人	12月	ショッピング(高知市) 2回	7人
	野球観戦(越知町)	3人		ときめきクリスマス(町内)	3人
8月	外食(町内)	5人	1月	初詣	3人
9月	ドライブ(梶原町)	3人	2月	いちご狩り(南国市) 2回	11人
	ドライブ(黒潮町)	2人		温泉(黒潮町)	3人
			3月	高知城歴史博物館(高知市)	1人
				ショッピング(高知市)	2人

※外出行事年回合計27回実施

<外出について>

平成31年3月31日現在

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	4	3	7
自己決定で付き添って外出している	23	10	33
外出について意思表示が困難	8	2	10
計	35	15	50

※自己決定の困難な(意思表示の困難)ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
平成30年 5月23日	入所者：39名 通所者：0名 短期：1名 職員：13名 計53名	汚物処理室を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。
平成30年 7月25日	入所者：44名 通所者：2名 短期：1名 日中一時支援：1名 職員：15名 実習生：1名 計61名	昼間の地震を想定し、避難を行う。
平成30年 9月26日	入所者：44名 通所者：2名 短期：1名 職員：27名 計74名	夜間に地震が発生、機械室より火災が発生したと想定をし、通報・消火・避難を行う。
平成30年11月30日	入所者：39名 通所：2名 短期：1名 職員：13名 計55名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
平成31年 1月28日	入所者：41名 通所者：4名 短期：2名 職員：14名 計61名	夜間の地震を想定し、避難を行う。
平成31年 3月27日	入所者：40名 通所者：2名 短期：3名 職員：13名 計58名	機械室を火元に夜間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。

食生活支援の状況

今年度もご利用者に喜ばれる豊かで安全な食事作り、3食カフェテリア方式での選択食の実施を行った。旬の食材や地元食材の使用、ご利用者のニーズやリクエストには出来るだけ応えた献立作成を実施し概ね満足いく食事の提供が実施できたと考える。

また給食食材管理においては、月間管理を行いながら食材管理の調整を行うことで予算内に収めることができた。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年2回）、残渣調査（計量）の結果、また、日常的にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 6月 肉と食べて夏を乗り切ろう

8月 ハワイアン

2月 冬の海鮮まつり

・主な行事食

4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当

7月 夏まつり

12月 クリスマス年忘れ会（皿鉢・寿司・たたき・クリスマスケーキなど）

1月 おせち料理・新年会（皿鉢・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

居室やリハビリ室におけるリハビリに加え、他職種からの情報を元に実際場面に介入し、生活動作訓練や環境面の調整等を行った。車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。今年度は、各棟廊下の装飾を工夫することで、日常生活の中で季節や月日の流れを視覚的に確認できるような工夫を行った。一つは、日中活動と連動させ、各棟廊下の装飾を作成した。行事ごとの写真をその都度掲示することで、視覚的に記憶を想起できるよう工夫を行った。さらに、献立表の上部に日めくりカレンダーを作成し、記憶障害、見当識障害がある方でもその日の献立をその場で確認できるようにした。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント
身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者一人ひとりに合った福祉用具を検討し導入している。
2. 社会生活意欲の向上
高次脳機能障害のあるご利用者に対し、町内での買い物支援を行った。財布を持ち、自ら支払いができるよう環境設定し、実際場面での体験をすることができた。
3. 意欲的活動性の向上
ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。例年同様、日中活動の時間を利用し、専門学生による創作活動を実施。自助具や作業方法の工夫を行い、自力で行える環境設定の中で、創作活動だけでなく交流の場も提供することができた。通所ご利用者等、これまで参加したことのなかった方の参加を促すことができた。
4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成
車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。購入を検討する際、リハ室に準備してある自助具を使用することで、生活場面で使用して実際に検討することができた。
5. リハビリ実施状況
平成30年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者49名、通所者8名、短期入所者3名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～5回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計8～19名、平均16.7名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら今年も取り組みを行ったが、今年度は心不全にて2名のご利用者が死亡された。又、肺炎や持病の悪化等にて、受診や入院も多かった。入院に関しては、同じ利用者が何度も入退院を繰り返した。その中でも1名の方は、ケアに努めたが食事摂取が少なく施設での生活は困難となり退所された。引き続き健康で過ごせるよう日々状態把握に努める。

今年度もインフルエンザワクチンの混合接種を11月～12月にかけて全ご利用者、職員を対象に実施するとともに、施設内感染の予防対策として、全職員に周知徹底するなど衛生管理の強化を行ったことで、インフルエンザやノロウイルスの感染を予防することができた。引き続き感染対策の強化に努める。

今後の課題としては、入院治療が望ましいご利用者に対し病院側の受け入れが困難な場合、施設でどこまで診ていけるのか、どのような対応とするのか検討をしていく必要があると思われる。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	園内消毒 ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
11月	職員健康診断の実施（検尿・採血） 季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導。 嘱託医師にて2回／週（水・土）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯科	38人	70回	外科	5人	11回
内科	16人	40回	脳神経外科	3人	15回
泌尿器科	7人	18回	神経内科	5人	25回
整形外科	3人	9回	精神科	5人	24回
皮膚科	3人	9回	眼科	5人	9回
婦人科	2人	6回	総合診療科	0人	0回
耳鼻科	4人	9回	胃瘻交換	4人	6回
乳腺外来科	1人	4回	合計	101人	255回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
外科	1人	2人	40日
内科	7人	13人	288日
脳神経外科	1人	1人	32日
泌尿器科	人	人	日
精神科	1人	2人	45日
神経内科	1人	1人	12日
整形外科	人	人	日
合計	11人	19人	417日

4. 特別な医療行為者数

平成31年3月31日現在

区分	人数	
気管切開の処置	2人	
経管栄養	経鼻	2人
	胃ろう	4人
バルンカテーテル	9人	
合計（重複者あり）	17人	

実習生受け入れ状況

本年度も、今まで以上に育成校や実習生との意見交換や個々の気持ちの聞き取りを行い、出来る限り要望に沿えるよう実習プログラムを立てた。老人施設と障害者施設とのあきらかな違いを生徒も認識しており、障害者施設における支援のあり方や楽しみなどについても理解を深めてもらった。また、職員は、実習生を通して、日頃のケアのあり方や福祉施設職員としてのあり方などを見直すことができ、サービスの質の向上につながっている。ただ、職員の考えと学生の聞き入れ方にズレが生じることもありその時の状況だけで判断し誤解をすることもみられ、伝え方の工夫も必要となってきた。

今後も学校と連携を密にとりながら、実習生それぞれの個性を尊重した指導育成を心掛けるとともに、実習生を通して職員全体の意識向上にも努めたい。

< 実習受入れ >

○平成福祉専門学校

開催月日	内 容	人 数
平成30年10月15日～10月26日	第1段階	3名

○高知県立大学

開催月日	内 容	人 数
平成30年8月9日～9月10日	介護実習Ⅱ-②	2名

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

ご利用者一人ひとりが地域において自立して日常生活及び社会生活が営むことができるよう、各相談支援事業所並びに就労継続支援事業所と連携をしながら生活の質の維持向上を目指した取り組みを行うとともに、心身の状態の把握に努めながら、適切な助言や必要な支援を行った。

4月上旬より精神面での不安定さと、認知面の低下により、入院をしていた男性ご利用者が介護認定され、介護保険に移行したことに伴い、7月上旬に退所となるが8月には新たな男性入居者を確保することができ、さらに12月には1名の女性入居者を確保することができた。しかし、精神疾患のあるご利用者については心身の状態に波があるため、状態を観察し、早期対応をするなどの対応はしているものの入退院を繰り返しているような状態である。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容

	行事名
4月	誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）
5月	誕生日会、避難訓練（昼間風水害想定）
6月	避難訓練（夜間地震想定）
7月	ショッピング（フジグラン高知）、避難訓練（昼間地震想定）
8月	避難訓練（昼間火災想定）
9月	誕生日会、避難訓練（夜間風水害想定）
10月	誕生日会、明成会秋まつり、避難訓練（昼間火災想定）
11月	誕生日会、外食、避難訓練（夜間地震想定）
12月	ふくふくまつり、ショッピング（イオン高知）、クリスマス会、避難訓練（夜間地震想定）
1月	初詣、誕生日会、避難訓練（昼間風水害想定）
2月	誕生日会、避難訓練（夜間地震想定）
3月	避難訓練（夜間火災想定）

3 市町村別入所者数（平成31年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四万十町	3	3	6
中土佐町	1	1	2
合計	4	4	8

4 年齢別入所者数（平成31年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	1	2	3
30歳～39歳	0	1	1
40歳～49歳	1	0	1
50歳～59歳	2	0	2
60歳～64歳	0	1	1
65歳以上	0	0	0
合計	4	4	8

	男性	女性
最小年齢	24歳6ヶ月	21歳2ヶ月
最高年齢	60歳0ヶ月	60歳4ヶ月
平均	46歳6ヶ月	35歳5ヶ月
男女平均	40歳11ヶ月	

5 障害支援区分別利用実績集計表（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	27	20	17	6	70
区分1	60	62	60	62	62	60	62	60	62	59	55	62	726
区分2	64	53	36	52	54	43	50	54	84	80	66	74	710
区分3	55	55	55	48	45	55	86	81	54	49	51	50	684
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	179	170	151	162	161	158	198	195	227	208	189	192	2,190

6 入院状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
内科	1	1	14
精神科	3	4	156
呼吸器科	1	2	4
合計	5	7	174

7 外泊状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	実人員	延人数	延べ日数
4月	3	8	11
5月	3	9	15
6月	3	7	17
7月	3	7	23
8月	3	9	25
9月	3	9	21
10月	2	5	7
11月	3	8	15
12月	4	12	21
1月	5	12	40
2月	4	12	22
3月	2	9	17
合計	38	107	234

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も四万十町役場健康福祉課や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画作成などに取り組んできた。

3月末現在、特定相談で受けている方は95名で、四万十町から委託されている一般相談は13名である。相談支援専門員が専従体制になったことで、より深く個々のケースに関わることができるようになり、特定相談の件数だけでなく、日頃困っていることについての相談ごとも増えてきている。また、自立支援協議会や個別支援会議へも参加し、課題検討や情報共有を行った。

平成26年度より取り組んできた「若者の集い」については10月に実施することができた。次年度こそは、年2回を目標に実施し、参加者と交流の機会を図っていきたい。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導

2 相談受理事件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
203	275	286	218	213	233	215	188	219	232	176	193	2,651

3 相談支援方法別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家庭訪問	42	65	75	56	63	73	67	48	66	52	40	64	711
来所による支援	10	10	7	8	11	7	9	17	13	17	15	13	137
同行	7	3	6	11	5	6	3	6	11	8	10	9	85
電話	55	66	67	39	51	47	45	39	48	58	42	41	598
メール	1	1	0	1	1	0	0	0	0	7	5	2	18
関係機関との連携	80	109	121	92	81	94	83	72	77	78	59	61	1007
個別支援会議	3	12	9	7	0	3	6	5	3	9	4	3	64
その他	5	9	1	4	1	3	2	1	1	3	1	0	31
合計	203	275	286	218	213	233	215	188	219	232	176	193	2,651

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

今年度も居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図りサービスの提供に努めた。利用定員を11月から月曜日を35名から40名に変更し、月・火・金曜日を40名、水・木・土曜日を35名とした。

月平均実人数は89名で前年度とほぼ同様の実人数であった。延べご利用者数では、前年度より228名増え、年間では9,703名であった。ご利用者数は4月～7月までは平均28名であったが、利用回数を増やしてほしいと言った要望から8月からは平均30名となり、3月には平均35名となった。

ご利用者の平均要介護度は年間1.4（男性1.6、女性1.3）となっている。昨年度と比較すると男性の要介護度が男性2.3から1.6と軽度化がみられる。事業対象者から要介護2までの方が全ご利用者数の8割を占める結果となった。要介護3以上の重度のご利用者は全ご利用者数の2割にとどまっているのが現状である。

年齢別では、85歳以上が全体の8割を占め、90歳以上も全体の4割と、平均年齢は高くなっている。最高齢は女性が101歳、男性は96歳である。

緑林荘は、町より災害時の福祉避難所に指定されており、災害時に高齢者や障害者など、要配慮者を受け入れる体制づくりを進めており、丸山地区の防災訓練に協力した。

昨年度から継続的に取り組んでいる、認知症ケアの基礎となる水分摂取量を確保するために、必要な水分量を確保できていないご利用者には提供の工夫を行った。

通所介護計画書については、定期的な見直しを6ヶ月に1回、必要に応じ随時の見直しを行い作成するとともに、ご利用者ご家族に説明し同意が得られた計画書に基づき個別対応の提供に努めた。

また、月に1回職員会を実施し職員の情報の共有化を図り、日々業務内容の見直しを行いながらサービスを提供することでご利用者のニーズに応えることができた。

＜総合事業通所介護事業＞

総合事業通所介護計画書は3か月毎に見直しを行い、支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めた。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、下肢筋力を強化する為、外での歩行訓練も積極的に取り組んで行ってきた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行ってきた。

ほとんどの方が現状維持できているが、中には自宅で転倒され、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱいの状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

(1) 介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月	お花見弁当1回、クッキング（おやつ）2回
5月	クッキング（おやつ）2回
6月	クッキング（おやつ）2回
7月	第12回りよくりん交流会、救急法、クッキング（おやつ）2回
8月	クッキング（おやつ）2回
9月	クッキング（おやつ）2回
10月	クッキング（おやつ）2回、避難訓練
12月	クリスマス会1回、忘年会3回・餅つき1回
1月	新年会

※ 母の日・父の日・敬老の日に合わせご利用者に手作りプレゼントを手渡す

※ 10/12 川口保育所園児との交流

※ 10/23 松葉川保育所園児との交流

※ 12/15 窪川小学校児童との交流

(2) 機能訓練とレクリエーション

個別対応を基本とし、選択肢できるメニューの提供を毎回実施できた。午前中は月間プログラムをたてゲームの提供を行うとともに、運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。季節の風景を見ながら気分転換を図る方や、下肢力の補強にと目的をもち毎回休まず参加する方も増えた。百歳体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図ることができた。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。編み物や縫い物、囲碁、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動が行われた。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めた。ペンシルパズルや曼茶羅塗り絵などが人気を集めた。

(4) その他

四万十清流消防署協力のもと避難訓練と消火訓練を行い、防災意識の向上を図った。

3 年齢別登録者数集計表

平成31年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0	0	0
6 5 歳 ~ 6 9 歳	1	0	1
7 0 歳 ~ 7 4 歳	0	1	1
7 5 歳 ~ 7 9 歳	3	3	6
8 0 歳 ~ 8 4 歳	8	6	14
8 5 歳 ~ 8 9 歳	9	26	35
9 0 歳 ~ 9 4 歳	6	29	35
9 5 歳 ~ 9 9 歳	2	5	7
1 0 0 歳 以 上	0	2	2
合 計	29	72	101

※ 最高齢は100歳の女性（要介護4）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (平成30年3月31日現在)	84歳5ヶ月	88歳3ヶ月	87歳5ヶ月
平均年齢 (平成31年3月31日現在)	86歳9ヶ月	89歳5ヶ月	88歳8ヶ月

4 要介護別利用実績集計表 (平成30年4月～平成31年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	25	27	26	26	27	25	26	27	26	24	24	26	309
1 日 平 均 利 用 者 数	28.48	27.00	27.65	28.54	30.78	30.40	33.33	34.50	33.54	33.75	34.04	35.15	31.40
事 業 対 象	16	21	20	17	21	16	24	28	23	26	26	29	267
要 支 援 1	51	42	45	32	40	40	41	39	43	35	39	46	493
要 支 援 2	78	93	81	96	103	98	125	132	119	121	109	131	1,286
要 介 護 1	299	297	316	349	377	317	311	302	301	247	222	239	3,577
要 介 護 2	154	117	123	129	148	158	233	224	234	241	291	310	2,362
要 介 護 3	98	143	123	107	120	116	120	112	116	105	98	133	1,391
要 介 護 4	16	16	11	12	22	15	46	60	36	35	32	26	327
要 介 護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ利用者数	712	729	719	742	831	760	900	897	872	810	817	914	9,703

(平成29年度 延べ利用者数 9,475名)

5 その他

- (1) 9/9 丸山地区生活支援サポーター研修・防災訓練
- (2) 5/25 7/27 12/28 地域ケア会議（四万十町）

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

今年度も行政や地域住民、利用者代表やご家族の参加のもと運営推進会議を年2回開催し、さくら貝の運営状況などの報告を行った。活発な意見や要望を受け、地域のニーズ把握にもつながり、より地域に密着したサービスの提供に努めることができた。

ご利用者の状況については、7月から定員を15名に増やし、新規でのご利用数も徐々に増え、昨年に比べ増収となった。

地域との関わりについては、地元の小・中学校・隣接する保育所との交流が活発であり、ふれあいの機会が多くあった。特に保育所とは合同でのクリスマス会やもちつき、お楽しみ会などにも楽しむことができた。合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで防災意識も高まっている。

介護予防の為、百歳体操やストレッチ体操、下肢筋力運動、レク、手芸、クッキングなどを継続することで、身体機能の維持、向上を目指した取り組みを行った。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 行事内容

四季折々にご利用者の楽しみに合わせた行事を行った。

(1) 主な行事

	行事名
4月	お花見弁当(1回)
5月	興津保育園合同避難訓練、母の日週間、クッキング(おやつ)2回
6月	父の日週間、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
7月	クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
8月	クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回、風水害避難訓練
9月	歌謡ショー、敬老の日週間、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回、運営推進会議
10月	クッキング(おやつ)2回
11月	興津保育園合同避難訓練、クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
12月	もちつき、忘年会2回、クッキング(おやつ)2回
1月	クッキング(昼食)2回、(おやつ)2回
2月	節分、クッキング(昼食)1回、(おやつ)2回
3月	クッキング(昼食)2回、火災想定避難訓練、運営推進会議

(その他)

- * 誕生日、敬老の日に手作りのカードをプレゼント
- * 母の日、父の日に手作り記念品のプレゼント

(2) レク内容

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には頭の体操や卓上でのレクを実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) ボランティア来園状況

- 5月24日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー（出演者8名・地域24名）
- 9月27日 大正新生カラオケクラブ様による歌謡ショー（出演者8名・地域33名）
- 4月～3月 毎週水、金（1名登録者）

(4) 保育所との交流

- 4月18日 保育所と合同職員会
- 5月26日 こいのぼり運動会
- 5月29日 合同避難訓練・消火訓練・防災ビデオ鑑賞
- 7月 3日 七夕飾りつけ
- 7月18日 保育所納涼祭
- 9月15日 保育所敬老会
- 10月20日 秋の運動会
- 11月28日 合同避難訓練・消火訓練
- 12月 1日 クリスマスツリー飾りつけ
- 12月21日 クリスマス発表会
- 12月27日 もちつき
- 3月10日 興津中学校卒業式
- 3月12日 卒園お別れ会、卒園児プレゼント贈呈
- 3月20日 興津小学校卒業式

(5) 小中学校との交流

- 12月20日 興津中学校全校生交流学习
- 3月 7日 興津小学校卒業生卒業プレゼント贈呈
- 3月 8日 興津中学校卒業生卒業プレゼント贈呈

(6) 地域との連携

- 6月12日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
- 6月25日 興津地区自主防災組織平成30年度第1回総会
- 8月 3日 興津地区津波避難訓練打ち合わせ

- 9月 2日 興津地区自主防災地震想定避難訓練
- 11月 7日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
- 1月28日 興津地区防災学習会
- 2月18日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会

3 年齢別登録者数集計表

平成31年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0	0	0
6 5 歳 ~ 6 9 歳	0	0	0
7 0 歳 ~ 7 4 歳	0	2	2
7 5 歳 ~ 7 9 歳	0	2	2
8 0 歳 ~ 8 4 歳	2	4	6
8 5 歳 ~ 8 9 歳	1	8	9
9 0 歳 ~ 9 4 歳	0	4	4
9 5 歳 以 上	0	3	3
合 計	3	23	26

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (平成31年3月31日現在)	84歳7ヶ月	85歳2ヶ月	85歳2ヶ月
最 高 齢 (平成31年3月31日現在)	87歳	99歳	

4 要介護別利用実績集計表（平成30年4月～平成31年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	27	26	26	27	25	27	26	26	24	24	26	309
1日平均利用者数	8.36	9.11	8.96	10.15	9.44	9.56	9.85	9.65	9.08	9.88	10.5	9.9	9.5
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
要支援1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	12	26
要支援2	10	24	25	26	24	26	20	18	25	22	27	17	264
要介護度1	65	77	58	70	78	66	83	64	51	46	48	38	744
要介護度2	80	98	103	104	82	67	84	66	77	68	74	97	1,000
要介護度3	26	22	22	36	25	40	37	60	43	54	60	50	475
要介護度4	24	25	25	28	30	40	42	43	15	16	15	15	318
要介護度5	0	0	0	0	12	0	0	0	25	24	24	26	111
延べ利用者数	209	246	233	264	251	239	266	251	236	237	251	258	2,941

（平成29年度 延べ利用者数 2,669名）

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度は異動に伴い介護支援専門員の交代があり、不慣れの中利用者の方々にはご迷惑をおかけした一年であった。包括支援センターや利用者、ご家族からの紹介などにより新規契約者が増え、受け持ち利用者数を一時期超えることもあり昨年度よりは増収となった。

しかしながら、長期入院者や介護者の介護負担増による短期入所生活介護の利用や定期的に入退所を繰り返す方が多かった。また、契約するもサービス利用につながらないケースや病気で亡くなる方、介護医療院への移行者も多く、年度末時には実績者数が大幅に減したこともあった。要介護者、介護者ともに高齢化しており、在宅生活への不安が高まっている声も多く聞かれた。要支援者については、要介護への変更に伴い受け持ち数は少なくなった。

昨年には介護保険法の改正や居宅介護支援事業所の指定等の権限が県から市町村に移譲され、例年以上に、市町村をはじめ、地域包括支援センター、病院、通所サービス事業所、訪問サービス事業所、福祉用具事業所など関係機関との関わりが密となった年でもあった。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	4	2	2	2	2	2	2	3	4	3	4	3	33
要支援2	8	8	6	6	6	5	5	5	5	6	5	5	70
要介護1	16	15	16	16	15	13	15	15	14	14	15	14	178
要介護2	8	9	9	10	11	11	10	9	9	9	9	10	114
要介護3	3	3	4	4	6	7	7	8	8	8	8	9	75
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	22
要介護5	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	4	4	43
合計件数	45	43	43	44	47	45	46	46	46	46	48	48	547
新規利用	3	1	3	3	2	1	2	2	1	0	1	0	19

* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

[地域における公益的な取組]

今年度、地域における公益的な取組みとして以下の内容を実施してきた。

1 (地域に向けた事業展開)

- ・地域の高齢者・障害者等を対象とした配食サービス事業

2 (地域のお機関とのネットワーク活動)

- ・地元の小学校・中高生との交流や実習生の受け入れを通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施
- ・訪問販売「スワン」、木曜日の園内喫茶、日曜日の町内買い物時に地域住民に勧誘し実施
- ・近隣の部落の方々と合同でお花見を開催

3 (福祉避難所の活用)

- ・災害時に備えた地域の防災意識の向上及びコミュニティづくりの一つとして、福祉避難所の運営訓練(12月9日)を実施
- ・地域の方も参加できる研修会(陶芸、認知症)を実施

4 (既存事業の利用料の減額・免除)

- ・介護保険事業(デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝)における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施

《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

今年度は、地域福祉を推進していくための活動の一つとして、地域の方も対象とした研修会を年2回実施することができた。なかでも認知症に関する研修会では、参加者から積極的な質問が見られ、これからも地域の方々へ情報提供等ができる機会をさらに増やせるように努めていきたい。

① 法人研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
法人研究発表会	1月29日	全職員	法人内の研究や積極的な取組み内容について、互いに発表し合うことで内発的モチベーション向上を図った
外部講師による研修会	9月17日	全職員 地域住民	対象者に地域の方も含め、外部講師を招き、陶芸を通して地域の方と交流を深めながら心身のリフレッシュを図った
	3月24日	全職員 地域住民	対象者に地域の方も含め、外部講師による認知症に関する基礎的な知識や情報を学ぶとともに、地域の方と交流を図った
公開セミナーの受講	9月20日	3名	ホスピタリティあふれるサービスの実践方法など、顧客満足を作り出す大切な要素を学ぶため公開セミナーの受講
経営理念・経営方針についての研修	6月20日	全職員	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、ディスカッションの実施
人権学習会	10月30日	全職員	外部講師を招き、事例をもとに高齢者や障害者等への虐待防止について学習
人事評価者研修	5月8日 10月8日	第1次評価者	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
事業継続計画（BCP）	12月20日	全職員	事業継続計画の理解及び机上型訓練の実施 『南海トラフ地震や風水害など災害時の対応について』

② 事業所研修

【 オイコニア 】

開催	内 容
4月	介護技術研修（排泄）
5月	夜間緊急対応訓練
7月	リスクマネジメント
8月	ノーリフティング研修
9月	災害時避難訓練
11月	感染対策
2月	救急法・AEDの取り扱い
3月	虐待防止

【 緑林荘・居宅りよくりん 】

	内 容
4月	マニュアルの見直し
6月	ノロウイルス対応と実践、食中毒発生まん延防止
7月	ヒヤリ・ハット・事件事例検討、救急法（さくら貝と合同）
8月	介護予防
9月	福祉避難所訓練
11月	水害時の対応
12月	インフルエンザ・ノロ対策
2月	事故発生時の対応、介護技術基本動作
3月	マニュアルの見直し、各担当役割について

【 さくら貝 】

	内 容
4月	平成30年度事業計画、研修計画
5月	避難タワー、避難場所確認、倫理及び法令遵守、高齢者虐待防止
6月	避難タワー、避難場所確認
7月	ヒヤリハット報告書に基づく事例検討、救急法（緑林荘と合同）
8月	認知症について
9月	意思の統一について、ヒヤリハット報告
1月	感染症予防について
3月	食事について、平成31年度事業運営について

【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

	内 容
4月	避難訓練（昼間火災想定）、ご利用者の送迎時の対応の検討
5月	避難訓練（昼間風水害・土砂災害想定）、職員のモチベーションチェック
6月	避難訓練（夜間火災想定）、ノロウィルスの対応と実践、食中毒発生時蔓延防止
7月	避難訓練（昼間地震想定）
8月	避難訓練（昼間火災想定）、経営理念・経営方針について
9月	避難訓練（夜間風水害・土砂災害想定）
10月	避難訓練（夜間火災想定）
11月	避難訓練（夜間地震想定）、個人情報保護について
12月	避難訓練（昼間火災想定）
1月	避難訓練（昼間風水害・土砂災害想定）、感染症について
2月	避難訓練（夜間地震想定）、虐待防止について
3月	避難訓練（夜間火災想定）

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。引き続き各事業所の広報誌、ホームページやフェイスブックについては定期的な更新をおこない明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信を心がけていく。

[公益事業]

【配食サービス事業】

前年度同様に四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食、365日配食を行った。四万十町配食サービス事業等に該当する方は1食300円で利用できることから、配食サービスを希望するご利用者ニーズは増加傾向にあると予測し、一日平均91.7食と想定していた。しかし、夏場に入り、ご利用者の体調不良等により入院や施設入所する方が多くなり、7～8月の利用人数が減少したことや四万十町内の受託事業所ではニーズに対し十分な対応ができない等の諸課題が明らかとなり、補助対象の決定には慎重にならざるを得ない状況も重なり、利用者数は2月まで減少傾向が続いた。3月に入り、町内の訪問介護事業所が閉鎖したこともあり在宅サービスを補う意味から配食サービスのニーズが急増し、3月の配食数は一日平均97.5食であった。この食数は今後も続くものと考えられ、改めて厨房の調理作業場等の諸課題の改善が求められている。

また、ご利用者数が増えることにより、嗜好ニーズへの対応件数も増加し、約2割の方が個別の対応が求められ、献立や調理作業、配送業務が複雑化してきている。

配達には四万十町シルバー人材センターとの提携により4名と新たに職員が1名加わり5名体制で3コースを交代で行うことにより、無理のない配送体制を整えることができた。また、配達の際にはご利用者の安否確認等を行い、普段の様子と変化があれば、関係機関やご家族に連絡をするなど、安心して在宅生活を送れるよう支援を行った。

月別配食集計表

	実績数			実利用者数		
	自費	公費	小計	自費	公費	小計
4月	234	2,533	2,767	10	91	101
5月	207	2,611	2,818	9	91	100
6月	170	2,641	2,811	6	93	99
7月	201	2,572	2,773	8	91	99
8月	181	2,480	2,661	8	87	95
9月	189	2,423	2,612	9	87	96
10月	179	2,625	2,804	9	91	100
11月	191	2,397	2,588	7	89	96
12月	196	2,474	2,670	7	89	96
1月	166	2,370	2,536	7	90	97
2月	161	2,237	2,398	6	88	94
3月	251	2,772	3,023	8	97	105
合計	2,326	30,135	32,461	94	1,084	1,178
月平均	193.8	2,511.2	2,705.1	7.8	90.3	98.2
1日平均	—	—	88.9	—	—	—

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

職員宿舎（平成6年築）は、町内の不動産会社からの入居希望者の紹介による外部利用者の利用が増えたため、今年度の平均利用率は90.7%と昨年を上回った。職員利用については、町外の新規採用者等も見られず、利用希望者は少なくなっている。

また、各部屋の老朽化が進んでいるため、計画的に建物の維持管理に努めていきたい。

平成30年度 利用状況一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19
外部	8	8	7	7	7	7	7	7	6	5	5	5	79
空室	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	2	2	10